

告示	番号	78	慢性心疾患
	疾病名	肺静脈狭窄症	

肺静脈狭窄症

はいじょうみやくぎょうさくしょう

概念・定義

肺静脈が狭窄ないし閉鎖している疾患である。先天性の場合と、総肺静脈還流異常の術後に認められる場合がある。難治性で、予後不良の疾患。4本の肺静脈の内、4本とも狭窄ないし閉鎖があれば、非常に予後不良である。胎児期に4本の肺静脈の内、4本とも閉鎖していれば、生後は生存できない。治療は、カテーテル治療か、手術であるが、再狭窄の頻度は高い。

症状

4本の肺静脈の内、4本とも狭窄ないし閉鎖があれば、出生時よりチアノーゼ、呼吸困難を認める。肺静脈狭窄が早期から出現する場合には、肺うっ血に伴う重度のチアノーゼと多呼吸を認め、生後早期に死亡すること例が多い。肺静脈狭窄が1-2本に限定すれば、多呼吸、体重増加不良などの症状は軽いことがある

治療

治療は、カテーテル治療か、手術であるが、再狭窄の頻度は高い

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_46_59.html